

施策検討用参考資料

【一部修正】

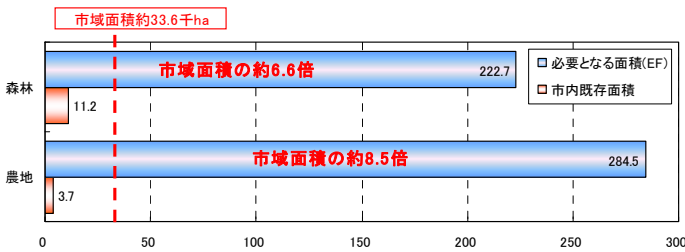
施策 4-4 生物多様性の保全とみどりの創出

《施策の方向性》

福岡市の豊かな自然環境からのさまざまな恩恵を将来にわたって継続的に享受するために「生物多様性ふくおか戦略」を推進し、その考え方について、各行政計画への導入や市民への浸透を図るとともに、生物多様性の保全と利用の改善・強化に取り組み、都市の魅力増進につなげていきます。

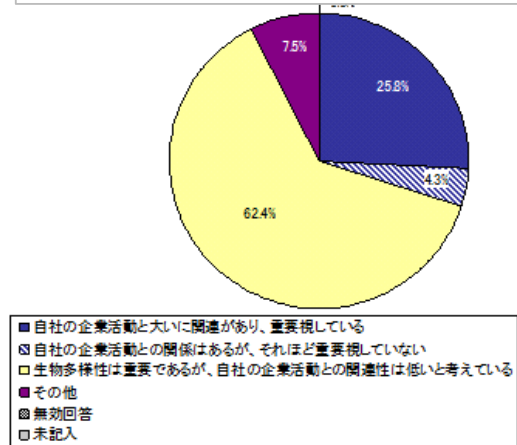
本市の緑の骨格である、脊振山等の山並みや、そこから市街地に伸びる緑地帯、博多湾や玄界灘の白砂青松等を、健全な姿で将来に受け継ぎます。また、市街地の公園・街路樹、海辺・河川等、豊かな水と緑の連続性を創出します。そして、これらの緑を市民、地域、企業、行政とが一緒になって守り、創り、育てます。

《関連データ》



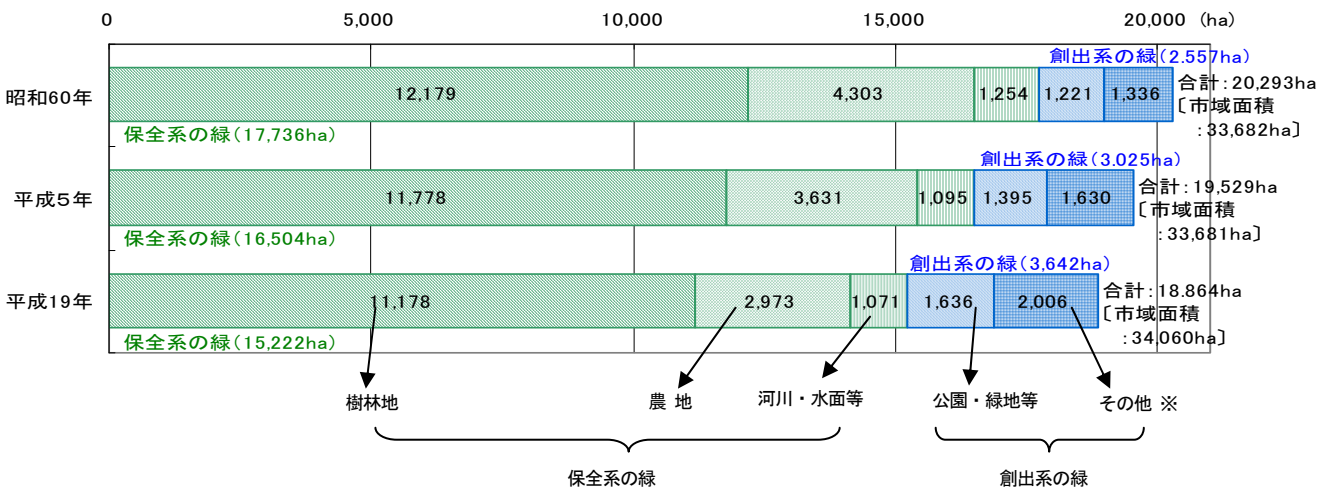
<福岡市民の消費を支えるために必要な森林、農地面積(1990年値)>
出典:サステイナビリティの科学的基礎に関する調査報告書(2005年)

生物多様性に関する事業者アンケート(2011年)
<企業活動と生物多様性の関連性について>



全市域の緑の量の変遷 【福岡市新・緑の基本計画】

資料：環境局



※道路、公共公益施設、商業・業務地、工業地の緑

《主な事業と平成24年度当初予算》

(単位：千円)

事業名	事業概要	予算
緑地保全事業	市街地に残された良好な樹林地の保全	507,500
合流式下水道の改善	公共用水域の水質保全を図るため、博多駅周辺及び天神周辺地区の浸水対策と連携しながら分流化を推進	957,000
博多湾環境保全対策の推進	貧酸素の発生状況調査、河川の流量・負荷量調査等	20,266

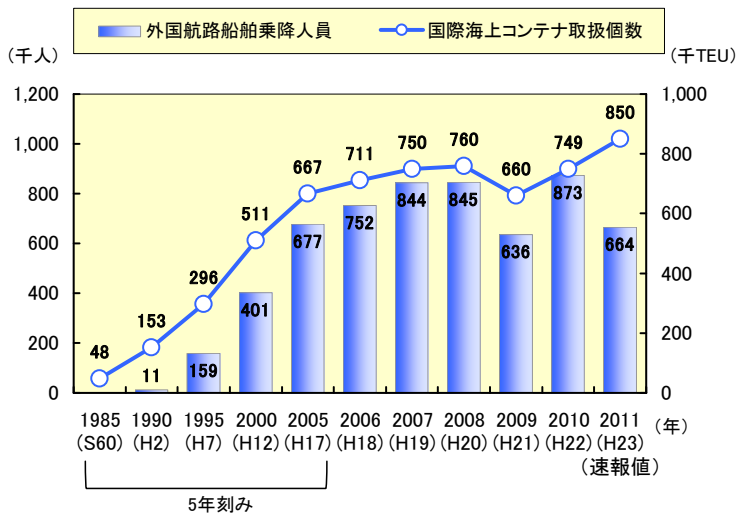
施策 8-4 成長を牽引する物流・人流のゲートウェイづくり

《施策の方向性》

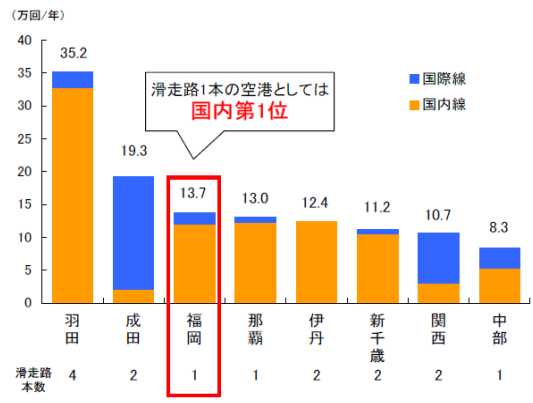
成長著しいアジアに近接し、今後さらにモノ・ヒトの交流が活発になる博多港と福岡空港について、港湾・空港の能力や利便性の向上、都心部、背後圏との連携の強化などの観点から機能強化を図り、アジアの成長と活力を取り込み、福岡の都市の成長ひいては日本の成長を牽引する物流・人流のゲートウェイづくりを進めます。

《関連データ》

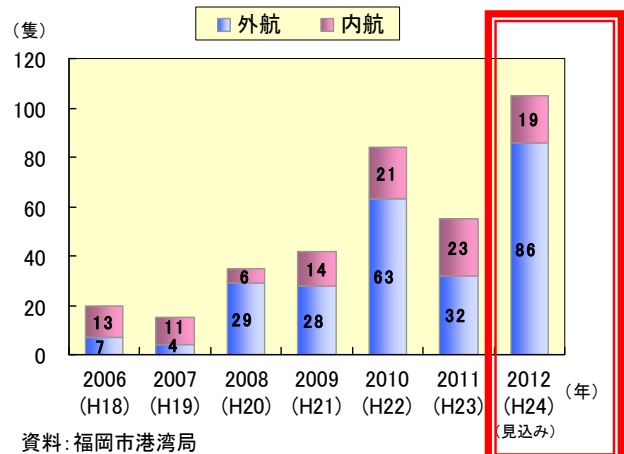
◆博多港における外国航路船舶乗降人員数と国際海上コンテナ取扱個数推移



◆国内主要空港の年間発着回数 (2010年度)



◆博多港のクルーズ客船入港隻数の推移



《主な事業と平成24年度当初予算》

(単位: 千円)

事業名	事業概要	予算
クルーズ客船誘致事業	クルーズ客船誘致、客船受入体制の充実 (岸壁～国際ターミナル、箱崎ふ頭～天神までの連絡バス運行等)	26,788
中央ふ頭整備事業	クルーズ客船の寄港拡大に伴うターミナル機能や物流機能の再編等についての検討	44,000
箱崎ふ頭整備事業 (国際・国内 RORO ターミナル関係)	国際・国内 RORO ターミナルと鉄道ターミナルのアクセス向上に向けた臨港道路の整備	334,000